

## 事務局日誌抄

\* 7月 28 日(日)

令和6年度「山中健児の碑」清掃（報告）



緑眩しい県都のメインストリート、パークロードの緑地に、県立図書館へと向かう若者たちを見守るかのように、ひっそりと佇む石碑がある。碑銘に曰く、「山中健児の碑」と。由来を多く語らないのは質実剛健をもって聞こえた山中生の如くだが、かつてこの地に旧制山中があったことを偲ばせる唯一のよすがとなっている。

同窓会総会まであとわずかとなった7月28日午前7時、準備活動で連日多忙の中、準備委員会役員をはじめとする98期有志15名が、代々の当番期に引き継がれている清掃活動のため、碑の前に参集した。連日猛暑が続く中、この日も朝から強烈な日差しが照りつけていたが、汗

だくになりながら草刈りや落ち葉拾いを行い、力を合わせて碑をピカピカに磨き上げた。



伝統を誇る山高の歴史の黎明期を築き、校歌に「青春今や 英気はみちぬ」と歌われた先人達に思いを馳せるとともに、同窓会総会の成功に向け、決意を新たにし、98期の絆を改めて確認する有意義なひとときとなった。

総務部会長 北野 宏和

\* 8月10日(土)

### 令和6年度山高同窓会ゴルフ大会報告

宇部 72 カントリークラブ

万年池西コース (A組)

阿知須コース (B組)

『ナイスショット！』伝統ある山口高校同窓会、そのゴルフ部会長として大任を拝したのは同期で準備委員長を務めた山下鉄太郎くんと一緒にゴルフを楽しんでいる時の事でした。

高校時代、彼とはラグビー部で共に汗を流し、部活は元より、テストの成績では400番台を競いあつた仲でもありました。そんなある日、鉄太郎くんからゴルフに誘われ、なつかしい思い出を語り合うなか『いよいよ我々も50代か～、人生の節目じゃし、お世話になった母校のためにひとつ、同窓会幹事にトライしてみようじゃないか！』と意気投合。ゴルフ部会長として一役を担う事となったのです。



わたし自身、ゴルフを本格的に始めたのは3年前。ゴルフの楽しさ、奥深さに魅了され気が付ければ趣味はゴルフ。そんな矢先に受けたゴルフ部会長の大任で、よし！しっかりと練習していくスコアを出すぐと意気込んだものの、聞けばこのゴルフ大会、同窓会前日に行われる伝統あるコンペティションで、この日を楽しみに遠方から帰省される方も多く、同期と交流を深める大切な場として、毎年100名を超える参加者が集うビックイベント。前任のゴルフ部会長さん

からは、“みなさんを気持ちよく迎える立場として役員をしっかりがんばって下さいね～”と引き継ぎを受けました。そこからは気持ちを切り替え、大会当日の無事故と大成功を期して、ふたりの副部会長さんと共に準備に奔走しました。

今年の夏も、いわすとした災害級の酷暑。大型台風の発生にもびくびくしながら、大会の準備をすすめていきました。大会当日は、前々日の豪雨の影響か、雨を吸収した大地が真夏の太陽の照り返しを若干弱め、最高のゴルフ日和となりました。また、毎年お世話になっている72カントリークラブの白石支配人のご配慮で、例年より少し早めのスタートとさせていただきました。

とはいいうものの、後半のラウンドは猛暑との闘いです。それでも！それでも！！『年に一度の旧友との大切な時間』暑さを凌ぐ熱球魂で、最後までひとりもリタイアすることなく18ホール無事、まわりきっていただく事が出来ました。本当につかれさまでした！！！

大会は、万年池西コースのA組、阿知須コースのB組、それぞれ20組に分かれスコアを競い合いました。早朝6時より受付を開始。スタートホールでは同伴する仲間たちとの記念撮影。ここがゴルフの良いところかもしれません。早朝にもかかわらず、みなさんやる気満々、昔話に花も咲き、満面の笑みでスタートして行かれました。私も遠目で見送りながら、“会う”事の大切さをしみじみと感じました。

あっという間に時も過ぎ、最終組も午後3時にはホールアウト。続々と集まる同窓生でクラブハウスはミニ同窓会といった雰囲気の中、表彰式がはじまりました。猛暑の中集い合った同窓生を勞いたいとの思いから、二井同窓会会长も会場に足を運んでいただき、懐かしい顔ぶれと力強い握手を交わされるなど、盛大に表彰式を開催することができました。二井会長、本当にありがとうございました！

今大会の参加者数は137名。最年長は58期の大先輩で、まだまだ余裕有りといった表情で会場を後にされました。大会を盛り上げていただ

# 山高同窓会事務局だより

いた皆様、本当にありがとうございました。98期準備委員長の山下鉄太郎くんをはじめ、98期生にも『是非、みなさんと一緒に汗を流して大会を盛り上げてほしい』との思いから、一緒にラウンドしてもらい、次期当番期で99期の有志にも、次年度の大会にさきがけて、今大会に参加していただきました。



令和6年度の同窓会スローガン「復活／挑戦／維新」にあるように、本大会が多くの山高同窓生の誇りと心意気に支えられながら次代へと継承されていくことを願ってやみません。

また、本大会に御協力いただいた宇部72カントリークラブの白石支配人をはじめスタッフの方々、アドバイスをいただいた佐藤商会の佐藤会長。当日までの運営に携わっていただいた当番期、98期の社河内さん、安村くん、大谷くん。99期の新谷くん。113期の藤下くん、村重くん、徳重くん。122期の秋山くん、原田さん、伊藤さん、山田くん、原田くん、村重さん、狩集さん、河原くん、岩本さん。

手助けいただいた準備委員会事務局の中野さん、吉岡さん、そして、この1年間ともに準備を進めてきたゴルフ部会の山本哲也副部会長、中田憲吾副部会長に深く感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

## 総合優勝

70期 中原 篤美（万年池西コース）

## 優勝・準優勝

<万年池西コース>

優 勝 76期 藤田 茂樹  
準優勝 76期 栗林 寛二

<阿知須コース>

優 勝 88期 田中 伸幸  
準優勝 87期 野村 浩司

## ニアピン賞

<万年池西コース>

81期 沼 文隆  
71期 深川 坦

<阿知須コース>

89期 工藤 卓也  
93期 河村 元博

## ベストグロス賞

<万年池西コース>

83期 志賀 伸彦（グロス74）

<阿知須コース>

87期 野村 浩司（グロス74）

ゴルフ部会長 柳井 晴樹

\* 8月11日(日)

### 令和6年度山口高等学校同窓会総会報告

令和6年度山口高等学校同窓会総会は、8月11日(日)、山口市湯田温泉のかめ福オンプレイスで開催された。

スローガンは、“復活・挑戦・維新～Phoenix Challenge Revolution～”。コロナを経て、総会を完全復活する一方、新しいことに挑戦していく思いが込められている。



今年度の当番期は、98期・113期・122期で、当日は朝早くから約100名のスタッフが会場に集まり、来賓や会員の皆様をお迎えした。



司会は吉永達哉さん(92期)と松中恵子さん(98期)にお願いし、午前11時、末永汎本副会長(64期)の開会宣言で総会が開会した。

物故会員への黙祷の後、山下鉄太郎準備委員長が歓迎の挨拶に立ち、スローガンに込めた思いを述べた。

次に、二井関成同窓会長(67期)から御挨拶をいただいた。二井会長は、当番期によって総

会が成り立っていることに言及された上で、2030年代前半に当番期の半数近くを女性が占めるのを見据え、同窓会の常任幹事に多くの女性が就任していただけるよう、会則改正を行いたいと述べられた。

続いて、梅田憲和校長から、御挨拶とともに、母校の近況報告をいただいた。



次に、山下準備委員長を議長に、総会の議事が執り行われた。令和5年度会務・会計報告、令和6年度事業計画・予算案、同窓会会則改正案、令和6年度役員選出案について、同窓会事務局長の市原先生が説明され、審議の結果、いずれも承認された。特に会則においては、常任幹事、および幹事の人数が増員され、女性の常任幹事が大幅に増えるとともに、若い期の幹事も増えることとなった。また、中止となった動員学徒犠牲者追悼式に代わって、同窓会総会翌日の記念館公開にあわせて献花を行うことになった。



# 山高同窓会事務局だより

恩師として、田邊恒美先生、杉山昌史先生、久芳善人先生、原田剛先生に御登壇いただき、花束を贈呈した。そして、久芳先生から、ラグビーの世界遠征で山高バッジを配ったエピソードを交えた御挨拶を頂戴した。

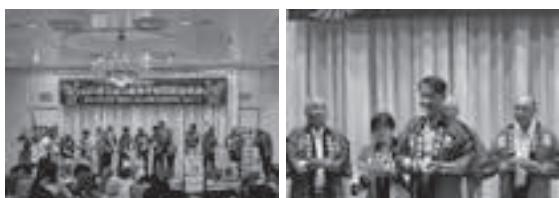


そして、今回、初めての試みとして、卒業間もない127～130期に参加を呼びかけ、12名が出席されたので、登壇していただき、村田照馬さん（127期）に御挨拶をいただいた。



総会行事の最後として、山中・山高の校歌を声高らかに齊唱した。

引き続いて、5年ぶりに、盛大に鏡開きが行われ、山口市の伊藤和貴市長（82期）の乾杯の御発声により、懇親会がスタートした。



会場内的一角には、県内の酒蔵の25種類の酒を取りそろえた日本酒コーナーを設置した。



総会の途中では、今年度の応援グッズ（タオル、Tシャツ、キューブパズル、扇子）や、同窓会事務局で発見された校章の焼きごてを押したあんパンなどを、98期が誇るトップセールスマニ、右田副委員長が言葉巧みにPRし、スタッフが販売して回った。



歓談が盛り上がってきたところで、アトラクションとなった。

まず、応援グッズの歴代校章入りキューブパズルの早揃え大会である。早揃えの名手、123期の鯨田さんによる驚異的なデモンストレーションの後、二井会長、梅田校長、新旧当番期の計7名による白熱した競争が繰り広げられ、会場内は爆笑で包まれた。



続いて、湯田温泉旅館協同組合協賛による宿泊助成券や、歴代応援グッズの抽選会が行われた。

続いて、新旧当番期の引継式となった。98期

の山下準備委員長から 99 期の中村聰次期準備委員長に「準備委員会事務局の看板」を、113 期の吉富さんから 114 期の山下さんに「気合いを入れるために竹刀」を、122 期の貴船さんから 123 期の大平さんに「総会準備のストレスを吹き飛ばす胃薬とリポビタンD」を手渡した。その後、中村次期委員長が、来年度に向か、力強い決意を表明された。



次に、恒例により、平田応援団長（76 期）を中心に、二井会長、副会長、梅田校長、伊藤市長、恩師の皆様に学生服姿で登壇していただき、優勝歌と熱球を会場の全員で合唱した。



そして、今村孝子副会長（75 期）の御発声による一本締めで、同窓会総会が無事終了した。

最後に、閉会挨拶として、右田副委員長が 98 期全員を壇上に呼び寄せ、会場の皆様に深く感謝の意を表した。



今年度の同窓会総会は、コロナ後初めて、準備段階からコロナの影響を受けない開催となり、基本的にコロナ前の開催形式に戻すこととしたが、ノウハウが十分に引き継がれていなかった。

また、これまで会場だったホテルニュータナカが閉館となり、レイアウトを一から見直さなければならなかつた。

更に、二井会長が提起された若者や女性の参加促進、コロナによる行動様式の変化、諸物価高騰の中での母校への寄附財源の確保、準備委員会の担い手確保といった新たな課題が山積していた。

こうした中、当番期となった 98 期は、知恵を出し合い、応援券価格の見直し、応援券の電子チケット化・クーポン付与、SNS を活用した若者への総会参加の呼びかけなど、新しい取組を企画した。

そして、人脈豊富な人は広告依頼、営業力のある人は応援券販売、DX に詳しい人は電子チケットの構築、企画力のある人はアトラクションのプロデュースなど、各々の強みを生かして活動した。

総会開催に至るまでの道は決して平坦ではなかった。しかし、同窓会を英語では Reunion と言うが、卒業以来三十数年ぶりに多くの 98 期と再会し、文化祭のように、仲間たちと 1 つの目標に向かって結束し、楽しみながら邁進することができたのは、当番期冥利に尽きるものであった。

二井会長はじめ同窓会役員や事務局の皆様、御指導や激励をいただいた諸先輩方、広告掲載や応援グッズ購入に御協力いただいた皆様、支部総会で温かく励ましてくださった支部の皆様、我々の準備作業を支え守り耐え抜いてくださった中野さんと吉岡さん、その他の関係者と同期の仲間たちに心から感謝を申し上げたい。

準備委員長 山下 鉄太郎

# 山高同窓会事務局だより

\* 8月12日(月)

## 動員学徒犠牲者追悼献花・記念館見学会

今年度より、総会翌日の記念館見学会にあわせて追悼献花を行うこととなった。午前10時から12時まで記念館を公開し、約35名の来場者により黙祷および献花が行われた。登校していた3年次生も十数名参加した。在校生は平和の母子像の存在を知らず、強い驚きと関心を示していた。この若い世代に、平和を願い、平和を守ることの大切さを地道に伝え続けるとともに、継続性のある具体的な方策を検討する必要がある。それがこの時代をくぐり抜けてきた先達たちの願いであると同時に、その思いを引き継ぐわれわれ世代の責任であると感じている。



\* 12月24日(火)

## 令和6年度 記念品贈呈式

昨年まで関係者だけで行っていた同窓会総会準備委員会による記念品贈呈式が、今年度は全校生徒の前で実施された。在校生に同窓会の活動をより身近に感じてほしいという二井同窓会会长の意向で、同窓会入会式に代わって今年度よりこの形式で行うこととなった。

令和6年度同窓会総会準備委員会（98期）および次期準備委員会（99期）から総勢6名が来校された。式ではまず、98期右田善弘副委員長より卒業を間近に控えた卒業生に向けて、同窓会から卒業記念品が贈られること、それに加えて、これから共に参加していく同窓会活動の意義などが、自身の体験を踏まえて熱く語られた。また、在校生全体に、今回の記念品贈呈の趣旨

とその活用への願いが伝えられた。その後右田副委員長より梅田校長へ記念品目録が贈呈され、梅田校長より謝辞が述べられた。

今年度贈呈された物品は以下の通りである。



図書室用机 一台  
図書室用椅子 六脚



現在の図書室の机は古い理科実験室の机を使用したもので、高すぎて使いづらい面があった。この度、10cm程度高さが低く、重量感があり、明るいナラ材を使用した机が一台贈呈された。椅子の布地の色は、図書委員会の生徒たちが決めたディープブルーで、まさに青春を感じさせ、落ち着きのある色となった。図書室の入り口入って直ぐの場所に設置され、図書室の雰囲気も明るく感じられた。



\* 2月20日(木)

### 同窓会役員懇親会

山口市湯田温泉の西の雅常盤において令和6年度山高同窓会役員懇親会が行われた。今年度亡くなられた方々に対する黙祷の後、二井関成会長(67期)より、99期準備委員会を中心とした新年度同窓会活動への協力のお願い、大幅に増員された女性理事や若者世代の総会参加への期待、防府、萩・長門、そして新たに宇部鴻峰会の休会により、13支部を10支部とすることの報告があった。その後、梅田憲和校長より現在の山口高校の生徒の様子が伝えられた。事務局からは今年度の卒業予定生徒数を紹介するとともに、卒業式に合わせて、若者世代への情報発信を行う目的で、同窓会のインスタグラムを立ち上げたことなどを報告した。

今回は8月の総会で新たに任命された女性幹事の出席により、例年の3倍以上、総勢16名の女性の参加があり、華やいだ雰囲気となった。120期以降の若者世代からも6名の参加があり、活気もさらに加わった。これがさらに8月の総会に繋がり、同窓会の活動自体が勢い付いて盛り上がりつつあることを期待したい。今後さらに母校への支援が充実するとともに、会を重ねるごとに、もっともっと世代間の交流が深まっていくよう、事務局としても工夫していきたいところである。

\* 4月1日(火)

### 令和7年度 同窓会事務局

年度末の人事異動で平林徹副校長(92期)が防府西高校校長として転任となり、新たに堀田英里副校長をお迎えした。定時制、徳佐分校が閉校となり、多くの教職員が転任となった。

事務局においては新たに昨年度書記の岩本圭史(101期)が事務局長となり、市原都子(86期)、堀伸次(101期)が、久保育子(103期)とともに書記を務めることとなった。今年度もあわせて4人で事務局を運営することになった。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【同窓会事務局】

事務局長：岩本 圭史 (101期)

書 記：市原 都子 (86期)

堀 伸次 (101期)

久保 育子 (103期)

山口県立山口高等学校同窓会事務局

〒753-0070 山口市白石二丁目6番34号

エスポートコーポ山高前2-1号

TEL 083-921-8015 FAX 083-921-8016

Mail ymg.doso.honbu@abelia.ocn.ne.jp

山高同窓会ホームページ

<http://www.yamako.gr.jp/>

※電話によるお問い合わせは、月・水・金曜日の午前9時30分～午後4時00分の間にお願いします。

\* 6月27日(金)

### 同窓会幹事会

山口市湯田温泉の西の雅常盤において令和7年度山高同窓会幹事会が行われた。

まずは二井関成同窓会会長挨拶において、今年8月の総会に向けて、各期の常任幹事男女二人制をさらに進めていきたいこと、13年を迎える会長職を来年8月に退任する意向であることが伝えられた。また、通信制同窓会「灯窓会」の閉会式が行われ、宇部鴻峰会の休部の報告もあって、県内外併せて実質9支部となったことが伝えられた。

また、今村副会長を中心としたワーキンググループからは、若年層会員の同窓会活動参加増進に向けて、準備委員会の子期(35歳)、孫期(26歳)は、これを機に各期の横の繋がりをつくりて頂けるよう、総会におけるステージ企画の一部をお任せしてはどうかという提案があった。

99期準備委員会からは、8月10日総会の案内と、応援券、同窓会記念グッズ購入の協力の依頼があった。事務局からは、8月11日の10時から12時まで献花および記念館公開を行うこと、若い世代のまだ未定の期の期幹事を紹介していただきたいこと、郵送料の値上がりに伴うメール配信への移行の協力依頼があった。各支部からは、支部総会の報告やこれから予定、通信制支部「灯窓会」からはその閉会について報告された。